

回答番号	枝番号	意見	事務局の考え
1		若い人が遊ぶ場所(公園とか)をつぶさないでほしい もっと若者が遊べる場所を増やして欲しい！！！！スポーツパークみたいなところがあれば体も動かせて健康的な生活を送れる人が増えると思う！！ もっと富田林を活性化させてください しっかり働いてください！！！！	他のパブリックコメントに関する意見の為、掲載なし
2		資料とは関係ないかもしれないが、かなちゃんバスは元々河南町内を走るバスだったのに、金剛バス廃止によって富田林駅までの走行は理解できるが、中学生の登下校の時間にバスが無くなったことで不便になった	金剛バスの廃止に伴い、従来の一部運行を河南町のコミュニティバスが担う形で金剛ふるさとバスとなりました。また、運行にあたりましては、町域全体の住民生活の維持を確保するため駅に向かうバスを優先に考えました。一方で、人口減少に伴う乗務員不足など、公共交通を取り巻く問題により、限られた財源の中で現状のサービスを維持し続けるかが課題となっております。今後、まずは現在のサービスレベルを基本とし、利用実態やニーズを踏まえサービス改善をしつつ、地域の方にとって利用しやすい公共交通となるべく、引き続き検討してまいります。
3		公共交通の維持について、自治体の大きな課題であると承知しております。 自分が自家用車を運転できるのはあと20年ぐらいかと思えます。その時には人の手を借りて移動しなければならなくなることを考えると、今は少し他人事のような気がしていますが、今から考えておかなければと思っています。 交通システムについては、自治体の方にご尽力いただくとして、私たちができることは何かと考えた時、気軽にシステムを利用できるように予約方法や運行状況を知るためのデジタルスキルを身に付けておくことかなと思います。 デジタルなスキルは、若い方は操作も問題なくできるかと思いますが、コロナウイルスの予防接種の予約時のように、操作が分からない人にとっては利用できないものでした。 自分が当事者になった時に、もし機器の操作についていけなくなっているは大変困るだろうと思っています。 またもしついていけなくなったら、何が助けになってくれるか考えた時、近くに気軽に代わりに操作してくれる人がいることかと思えます。人手不足がますます進んで、サービスに人手をかけずに生活する方向へ進んだ時、何もかもを行政に頼るのではなく、自分が住む地域での民間レベルの助け合いが円滑にできる関係づくりを今から作っていきたくと思っています。 それは家族でなくても、気軽にちょっとした用事を頼める人が近くにいる、場所が近くにあることの実現かと思えます。 さまざまな居場所がたくさんあり、住民が自然に交流し助け合える場が常に用意されている、または自然に発生するのもかもしれません。ひとりだけでいたくない人がひとりぼっちで過ごすことの無いような地域づくりを考えて行きたくと思っています。 その中でも、ちょっと近くまで車に乗せて行く、といったような公共交通に頼らない交通ネットワークができるかもしれません。 デジタルと人力の共存が上手くできれば、困っている人が少ない社会が実現できるのかもしれないと思います。 急速に変化する時代に、行政が対応していく難しさはこれからますます厳しくなっていくのではないかと思います。時代や求められるものが変化した、と感じた時に計画を変えずにそのまま進めるのではなく、変化した時に対応できる計画を作っていただきたいと切に願っております。 草の根レベルですが、自分たちにできる努力をしていきたくと思いますので、おチカラ添えをいただけたら有り難く存じます。 難しいことは分かりませんが、困っている人が少なくなるような施策を望みます。	公共交通は、人々の日常生活における移動を支える重要な役割を担っていると認識しております。 人口減少に伴う乗務員不足など、公共交通を取り巻く問題により、限られた財源の中で現状のサービスを維持し続けていけるかが課題となっております。同時に、地域の方々が、今後の自分自身の移動や地域公共交通の維持に関する問題を“自分事”として考えていただく機会を増やし、地域が一体となって、地域の移動手段を維持していくための体制が構築できればと考えております。
4	1	20ページの利便性向上の項目で高齢者の運賃減額割引を導入してほしいというワークショップでの意見があったが、高齢者だけでなく、通学に利用している学生も対象にしてほしい。	本地域の地域公共交通については、利用者が利用しやすいサービス内容への改善が必要であると認識しております。 来年度以降、分科会を設置し、現在のサービスレベルを基本としつつ、いただいたご意見の内容につきましては今後の事業検討の参考とさせていただきます。
4	2	過去ワークショップの参加者でバスを利用する現役世代の声が少ないように見受けられるので、幅広いバス利用者へのパブリックコメントの事を周知してほしい。	公共交通は、幅広い世代からの継続的な利用があって維持できるものと認識しております。 現役世代からのご意見もいただくことができるよう、今後のパブリックコメント周知の際は参考とさせていただきます。
4	3	終バスの時間をもう少し遅い時間に走らせてほしいという意見もあるが、バス運転手の確保が大変という事も理解しているので、今後議論するべきテーマだと思う。	全国的に乗務員不足は深刻化しており、確保に向けた取り組みは急務であると認識しております。P.53事業3の取組内容2の通り、運転体験や職業セミナー・PR実施、第二種運転免許の取得促進など、引き続き交通事業者や関係者と連携しつつ、対策の検討及び実施に向けて取り組んでまいります。
4	4	一番赤字路線の河内線のバスをやまなみタクシーに変更した方がバス車両を確保できるのであれば、その方がよいのでは。河内線とさくら坂線を合体する事は可能？(私の子供は河内路線が一番最寄りバス停ですが、乗車数が少なすぎて心配になっています)	来年度以降、分科会を設置し、現在のサービスレベルを基本としつつ、交通事業者と連携しながら運行内容の見直しを行ってまいります。運行範囲や路線再編につきましては今後の参考とさせていただきます。
4	5	カナちゃんバスを中学生が通学に利用していたが、コミュバスにカナちゃんバスを使用しているの、可能であれば朝のカナちゃんバス便を復活してほしい。バス運転手の確保、バス車両の確保 課題は多いが町民からの意見があったので、あえてここで意見を言わせていただく。	カナちゃんバスは、地域住民の日常生活における移動手段を確保・提供するために、地域内の施設を経由する形で運行しております。 一方で、利用者数の低迷や巡回できていない地域の存在、乗務員不足によるサービス維持の難化など、コミュニティバスの運行には課題がある状況です。 今後、カナちゃんバスのあり方については、河南町地域公共交通会議が主となり検討をしていき、本協議会も連携してまいります。

回答番号	枝番号	意見	事務局の考え
5		事業4 運行内容の見直しについて 富田林駅発着の河南町広域路線バスの時刻表について…富田林駅のバスの発車時刻が不相当であり、早急な見直しが必要である。 例えば、さくら坂循環線と言えば、13:15、16:30、17:00発などは、発車の2分後に近鉄電車が到着する。バスは、駅の構内で信号待ちしている。 30分～1時間間隔のバスの本数しかないのに、どれだけ待たせるのか?? 金剛バスの時には、近鉄電車との接続を考慮して、◎◎:20、◎◎:35、◎◎:05の発車時刻となっていたはずである。 定時発、きりの良い時刻発の必要性は、全くない!!! 素人が作った時刻表と言われても仕方が無い状況だ!!! 全体計画の素案の検討もさることながら、近鉄電車との接続を考慮したダイヤの見直しが、急務である!!! 時刻表の変更掲示に費用がかかるなら、5分程度電車の到着を待つなどの運用での対処が可能と思われる。	金剛ふるさとバスは、通勤通学における鉄道駅からの乗換利用が多い実態があります。 そのため、事業1広域幹線交通の利便性向上の通り、近鉄電車のダイヤを踏まえた時刻表の見直しを適宜行うと同時に、利用者自身が鉄道からバスへの円滑な乗り継ぎができるよう、わかりやすい乗換案内を強化していくことも重要と考えております。 今後、さらなる利便性の向上を鑑みて、交通事業者と協議を適宜実施しながら、引き続き検討してまいります。
6		資料編の1-4ページの表の配色について、「10人以下」と「51~101人以下」の色が似ていて見にくいと感じました。	配色につきましては、ご指摘いただいた通り見やすさを考慮して、修正させていただきます。
7	1	高齢者向けの交通対策として堺市南区で実施されている予約制の乗合タクシーみたいなのをすべての地域で実施してほしい 自宅近くから指定した時間に乘れて駅 病院 スーパー 公共施設に行けるというのは高齢者のお出かけ対策としてベストだと思います。 午前中に3便しかないレインボーバスはもういらないです。	富田林市レインボーバスは、富田林市が市内の主な公共施設を巡回するコミュニティバスとして富田林駅前～金剛連絡所前間を運行しており、市民の日常生活における移動手段を確保しております。 今後の市内のコミュニティ交通のあり方については、富田林市交通会議が主となり検討を行い、本協議会も連携してまいります。
7	2	万博が終わったらいただけるという無人バス？は道幅が狭く工事のしにくい地域を走らすより金剛金剛東地域に走らせるほうがいいと思います。	自動運転バスの実証実験の実施主体は、大阪府であります。今回の貴重なご意見は、大阪府に情報提供いたします。
8		いろいろと検討されており、ありがたく思っています。 公共交通計画には、今後の地域公共交通の自動運転にもらみ、道路改修計画が急務と考える。車が通れば人が歩けない箇所がたくさんある。この改善方法も検討(提案)すべきであると思われる。	公共交通サービスを提供する交通事業者の人材不足は、全国的に大きな課題となっており、自動運転は乗務員不足によるサービス低迷の解決手段の一つとして、これから検討していく必要があると認識しております。 自動運転バスの実証実験の実施主体は大阪府であります。本協議会といたしましても、地域住民の安全を第一とした取り組みとなるよう大阪府と連携してまいります。
9	1	p6(1)第5次太子町総合計画後期基本計画 地域公共交通関連施策 について 「利用状況や利用者の意向を踏まえ、利便性の向上に向けた取り組みを進める」とありますが、台風などでの交通災害(近鉄電車運休など)に対する防災無線の活用を町は拒否されました。 町職員がこぞって住民の足である電車・バスの運用を守る姿勢を示すべきだと思います。4市町村で全世帯に防災無線機が設置されているのは太子町だけと聞いております。 町の財産の有効活用をお願いします。	p6(1)第5次太子町総合計画後期基本計画 地域公共交通関連施策 について 防災無線の活用は、防災、応急救助、災害復旧に関する業務に使用することを主な目的としているため、鉄道の運休等の情報提供については、その役割の範囲外と考えております。
9	2	p6(3)太子町地域公共交通計画 目標 について 「地域にあった持続可能な地域公共交通網の形成」とありますが、まず住民にバスに乗ってもらわねば持続不可能です。 住民アンケートなどでバスの便数・時刻・料金・バス停などの課題は明らかです。 空席で走らせるより100円バス(かなちゃんバス)で走らせるほうが乗客も増えて希望が持てます。今すぐに「のってこバス」だけでも改善策の検討、実施をお願いします。	p6(3)太子町地域公共交通計画 目標 について 金剛ふるさとバスは、金剛バスの運行内容を引き継いで運行しております。そのため、運賃面においても、本地域を運行する近鉄バスや南海バスの運賃に比べ、安い運賃でサービス提供をしております。 一方で、人口減少に伴う財源不足や利用者数の低迷、乗務員不足など、公共交通を取り巻く問題により、現状のサービスを維持することが難しいことが現状です。 今後、まずは現在のサービスレベルを基本とし、利用実態やニーズを踏まえサービス改善をしつつ、地域の方にとって利用しやすい公共交通となるべく、引き続き検討してまいります。
9	3	p7(4)太子町観光まちづくりビジョン 基本理念 について 「和の精神を持って近つ飛鳥の里の魅力を創造」とありますが、「和の精神」とは「皆が和やかな心で共感し合い、和を目指す立場で議を尽くせば、解決できない課題は存在しない」と辞書にあります。しかし、住民が納得できないまま公民館が無くなり有料化されたり、町のコミュニティバスが値上げされ割引制度も廃止されました。 これは町が和の精神を守っていないからだだと思います。 また府下で太子町の認知度が低いのは何故でしょうか。現代の若者に「近つ飛鳥の魅力」と言っても通じるとは思えません。聖徳太子ばかりに頼るのではなく、住民アンケートにもあるように 「人と自然が調和・共生したまち」「定住にふさわしい住みよいまち」という太子町の魅力をこそアピールすべきではありませんか。 私自身がその魅力に引かれて藤井寺から引越してきたのですから。	p7(4)太子町観光まちづくりビジョン 基本理念 について 地域の魅力を感じていただける取り組みが重要であることは深く認識しております。 今後、人口減少に伴う財源不足といった課題もある中で、魅力創出及び発信の取り組みは、必要不可欠と考えております。公共交通とも連携しながら引き続き検討してまいります。
9	4	p43 課題解決に向けた取り組みの視点 について その通りなのですが、広域幹線交通の一つ近鉄と「交通事業者と協議のうえ、一定以上のサービス水準を維持」とは具体的に何をしようと言うのでしょうか。 現時点の協議内容やサービス水準が分かりません。	p43 課題解決に向けた取り組みの視点 について 本地域では、他市町村への移動需要が一定見られております。 通勤通学や来訪者の移動実態やニーズを踏まえ、現在のサービス水準(運行頻度や時間など)を維持できるよう、交通事業者と連携しながら利用促進策に取り組みなど、引き続き検討してまいります。
9	5	p45 視点◎主体性の役割 について 「交通事業者は『サービスの改善、情報案内の提供・充実』等とありますが、具体的に近鉄については何を求めておられるのでしょうか。	p45 視点◎主体性の役割 について 鉄道駅は、交通結節点としての機能を持っており、バスやタクシーなどへの円滑な乗継が求められています。 金剛ふるさとバスの時刻表の見直しには、近鉄電車のダイヤ改正などの情報提供は必要不可欠になります。また、P.56事業5の取組内容1の通り、駅ロータリー内での乗継案内の強化など、細かな連携により利便性の向上を図ってまいります。
9	6	p46 公共交通ネットワークの最適化、目標値2 について 「ふるさとバスの運行の、公的負担と利用者負担の割合を1:1とする。」とありますが、これは4市町村が走行距離に応じて負担している分担金と同額を乗客に支払わせる(実質値上げ)ということなのでしょうか。実質的に公営に等しいふるさとバスを、何の根拠で料金の値上げをするのでしょうか。 これは住民説明会が必要だと思います。	p46 公共交通ネットワークの最適化、目標値2 について 金剛ふるさとバスを将来にわたり維持していくためには、利用者数と収支率を見据えた取り組みが重要であると考えております。 来年度以降、分科会を設置し、現在のサービスレベルを基本としつつ、関係機関と連携しながら運行内容の見直しを検討してまいります。

回答番号	枝番号	意見	事務局の考え
9	7	p 46～50 基本的な方針及び計画の目標 について 妥当な内容だと思います。しかし、多方面に渡る取り組みには専従の担当職員が必要だと思います。 秘書政策課だけでなく、役場職員で専門のプロジェクトチームを作って取り組まないと、単なる作文に終わってしまう恐れがあります。 ご検討下さい。	p46～50 基本的な方針及び計画の目標 について 本計画の策定後、具体的な施策に取り組むうえで、交通事業者を始めとした様々な関係者との連携・協力は必要不可欠であると認識しております。 役場職員だけでなく、幅広い分野の関係者と適宜協議を行いつつ、実現に向けた取り組みをしてまいります。
9	8	p 49 協議会の基本方針 について 基本方針に住民参加が明記されていないことは問題です。実際に協議会委員 31 名中、住民参加は8 名でしかない。 ほとんど発言もしない役人を並べておくだけなのは税金のムダ使いではないでしょうか。今後持たれる分科会についても住民参加は無視されたままです。	p 49 協議会の基本方針 について 本協議会では、地域住民を代表して現在8名が参加しております。 計画検討に際しては、住民アンケート調査やワークショップの実施により、住民ニーズの取り込み試みを行ってまいりました。本地域の公共交通が今後どうあるべきかを明記する基本方針を踏まえ、「行政や交通事業者だけでなく、住民や地域関係者なども一体となって連携・協力することで、“地域公共交通を地域全体で守り支える”体制の構築を目指します。」と、地域住民の参加を含めた目標を掲げております。
9	9	p 50 事業の実施体系 について 8 事業の内の 7, 8 番目に住民参加が申し訳(利用するだけ)に書かれていますが、住民アンケートを取るだけでなく、事業の計画から実施に至るまで住民と共に行うのが 地方自治ではないでしょうか。住民の参加無しで、住民に「自分ごととして考える」ことを求めるのは無理があると思いませんか。	p 50 事業の実施体系 について 本計画を策定するにあたり、地域住民に参加していただき、“金剛ふるさとバスのあり方”や、“将来に向けて維持していくために、自分たちができることは何か”といった、公共交通について考えるワークショップを開催いたしました。今後も、今後も、P.59事業8の取組内容2のとおり、継続して地域住民が参加し、自分たちの地域を運行する地域公共交通について考えていく機会を設けていきたいと考えております。
9	10	p 53 持続可能な地域公共交通の構築 取組内容 3 について 「南河内地域において自動運転の実証実験の実施に取り組みます」とのことですが、この実施主体は大阪府であり 4 市町村が経営する訳ではありません。 当然、経費負担もするべきではなく、それが不明確です。将来的には自動運転が普及するでしょうが、現在はまだ技術的に不完全で、時速 20 kmくらいでしか走れません。 道路を改修しセンサーを設置しコントロールセンターも必要です。4 市町村が出せる額ではありません。 現に堺市が堺駅間 1.7 km を走行する自動運転バスの、実証実験費用は 2 億円です。それも国交省が認可せず計画は頓挫しています。 さらに問題なのは、これが実施されると、南河内には基幹交通のふるさとバス、市町村のコミバス、自動運転バスの三者が混在することになります。 しかしそれらをまとめて全体の公共交通を考えている機関がどこにも見当たりません。4 市町村の「未来協議会」では市町村合併してからと考えているのでしょうか。 また実証実験の 2 ルートとも単に走りやすい道を選んだだけで、住民の要望から増設したとは思えません。府民の税金のムダ使いに終わる危険が大きい実験を止め、その予算をふるさとバスやコミバスの運営経費として補助してもらうよう府に要望すべきではないでしょうか。	p53 持続可能な地域公共交通の構築 取組内容3 について 自動運転バスの実証実験の実施主体は、大阪府であります。今回の貴重なご意見は、大阪府に情報提供いたします。
10		地域公共交通協議会地域公共交通計画へのお願いです。 以前よりお願いしておりました、「水分」「東水分」間への新たなバス停についてご提案があります。 粗、中間点のグロワールカントリークラブ下の中島橋周辺にバス停の新設をお願い致します。 河南町の関係者の方に打診したところ、千早赤阪村がバス停の新設に生ずる費用の負担を考えていただけるのなら検討の余地があるとのニュアンスをお聞きしました。 近隣の十数世帯は高齢化が顕著です。自家用車での移動が何時までもできるとは限りません。 新設のバス停への予算処置のご検討をよろしくお願いたします。	地域の実情に即したバス停設置の提言ありがとうございます。バス停の新設については、運行ダイヤをはじめ、道路の現状などを総合的に検討する必要があり、交通会議での承認を受けたうえで運輸局に届出する必要があります。 そのため、今後、持続可能な公共交通の実現を念頭に置きながら、サービス改善を検討してまいります。
11		以前住んでいた所は、交通の便が悪く、バス停までが、遠かったのです、 若い頃は、車での移動が多く、等に不便を感じなかったのですが、 免許返納すると、移動手段が無く、本当に困りました。 かなりの回数の病院通いの為、時間的にも、金銭的にも、大変な思いをします。 免許返納後の支援制度、タクシーチケットや、デマンド交通、など、検討して欲しいと、思います。	地域の方々安全、安心、快適に移動できる環境の整備は重要であると認識しております。 ご意見については、今後の参考とさせていただきます。
12		6ページ 北部ルートの発着駅が上ノ太子駅となると不便さを感じます。交通量で調整しやすいかも知れませんが、既存のふるさとバスとの乗り継ぎも含めて時刻を決めて頂きたい。	鉄道駅は、交通結節点としての機能を持っており、バスやタクシーなどへの円滑な乗継が求められています。 事業1広域幹線交通の利便性向上の通り、関係者と連携しつつ、鉄道の発着時刻や乗り換えに要する時間(様々な方が利用されるため)を踏まえ、適宜見直しを検討してまいります。 自動運転バスの実証実験の実施主体は大阪府であります。本協議会といたしましても、地域住民の安全を第一とした取り組みとなるよう大阪府と連携してまいります。
13		青山台住宅は車が運転できなくなったら、出かけられません。今はまだ運転していますが、いつまでもは無理です。是非、バスを通して下さい。	富田林市内の各地域における移動手段のあり方につきましては、富田林市交通会議において議論しておりますので、今回の貴重なご意見につきましては、当該会議へ情報提供いたします。
14	1	レインボーバスが金剛駅まで運行してほしい。いろんなバスの時刻が1時間に1本とか、3時～4時まで終わりなので困る時が多い。	富田林市レインボーバスは、富田林市が市内の主な公共施設を巡回するコミュニティバスとして富田林駅前～金剛連絡所前間を運行しており、市民の日常生活における移動手段を確保・提供しております。 しかしながら、現在、金剛バスの廃止に伴い、一部の時間帯において金剛ふるさとバス東條線の補充運行をしていることから、現状の便数となっております。なお、レインボーバスの今後のあり方については、富田林市交通会議が主となり検討を行い、本協議会も連携してまいります。
14	2	病院バスを利用したいです。	限られた財源の中で、今ある輸送資源を上手に組み合わせながら、地域の実態に合った移動サービスを検討することは重要であると認識しております。 各輸送資源の役割を踏まえつつ、連携して本地域にあった地域公共交通のあり方を検討してまいります。

回答番号	枝番号	意見	事務局の考え
15		今、車運転出来ますが運転出来なくなったら駅までの小型バスでもいいので河内長野までつながるバスがあれば病院とか行きやすいので、あればうれしい。	本地域の地域公共交通については、利用者が利用しやすいサービス内容への改善が必要と認識しております。今後、まずは現在のサービスレベルを基本とし、利用実態やニーズを踏まえサービス改善をしつつ、地域の方にとって利用しやすい公共交通を提供できるよう、引き続き検討してまいります。
16		七町会で実施された乗り合いタクシーを一日も早く再び実行して下さい。青山台住宅での利用者が少ないという事で一度取りやめになりました。利用者が少なくても必要とする人はいます。ぜひ早急の実行して下さい。停留の場所は伏見堂でも河内長野でも良いと思います。4月辺りに実施していただける事を望みます。病院バスを運賃を払ってでも利用したい。	富田林市内の各地域における移動手段のあり方につきましては、富田林市交通会議において議論しておりますので、今回の貴重なご意見につきましては、当該会議へ情報提供いたします。
17		私が住んでいる富美ヶ丘町は町内でアップダウンのある場所になっています。また近隣のスーパーマーケットに行く場合も坂(ゆるいですが)の道路を利用します。15分程度歩くにしても高齢となると、なかなか厳しい場所だと思っています。町内にはタクシーが行き交っています。しかし買い物に行く度に個人でタクシーを手配するには費用がかかりすぎるし、手配の費用等を考えると外出をひかえてしまうといった声も聞こえてきます。気軽に外出ができる手段を考えていただければ嬉しいです。	富田林市内の各地域における移動手段のあり方につきましては、富田林市交通会議において議論しておりますので、今回の貴重なご意見につきましては、当該会議へ情報提供いたします。
18		公共の施設を利用する時に不便を感じます。循環するバスを出してほしい。	4市町村内の各公共施設へ、金剛ふるさとバスをはじめ、公共交通機関で気軽に移動できない施設も存在していることは認識しているところでございます。今後も引き続き、利用実態やニーズを踏まえサービス改善をしつつ、地域の方にとって利用しやすい公共交通を提供できるよう、検討してまいります。
19	1	バス停に屋根がないし、椅子もない。	バス待ち環境の整備は、利用者が快適にバスを利用するために重要な対策だと認識しております。P.56事業5の取組内容2の通り、上屋やベンチ等の設置のほか、情報提供も含め、引き続き検討してまいります。
19	2	病院バスに100円でも200円でも払うのでPL行や富田林行など使わせてほしい。スーパー回るバスがあればいいと思う。	限られた財源の中で、今ある輸送資源を上手に組み合わせながら、地域の実態に合った移動サービスを検討することは重要であると認識しております。各輸送資源の役割を踏まえつつ、連携して本地域にあった地域公共交通のあり方を検討してまいります。
20		乗りたい時にバスが無いので困っています。回数をもうちょっと増やしてもらえたらありがたいです。	地域の方にとって利用しやすい公共交通を提供できるよう、検討していく必要があると認識しております。一方で、人口減少に伴う利用者数の低迷や乗務員不足など、公共交通を取り巻く問題により、限られた財源の中で現状のサービスを維持することが課題となっております。来年度以降、分科会を設置し、現在のサービスレベルを基本としつつ、交通事業者と連携しながら運行内容の見直しを検討してまいります。
21	1	アンケートやワークショップで市民の要望を聞いて頂いて計画に生かして頂きありがとうございます。乗務員の確保のための対策も入れてもらっていますが、「検討」とされています。できる所からすぐ実施して頂き乗務員の確保をおねがいします。	全国的に乗務員不足は深刻化しており、確保に向けた取り組みは急務であると認識しております。P.53事業3の取組内容2の通り、運転体験会や職業セミナー・PR実施、第二種運転免許の取得促進など、引き続き交通事業者や関係者と連携しつつ、対策の検討及び実施に向けて取り組んでまいります。
21	2	「自動運転」の実証実験の実施もあげられています。地域住民の意見を聞いて頂き、人が乗る車であることを忘れず安全第一におねがいします。	自動運転バスの実証実験の実施主体は大阪府であります。本協議会といたしましても、地域住民の安全を第一とした取り組みとなるよう大阪府と連携してまいります。
21	3	昼間の時間帯など利用者数は少ないので小型バスやワゴンタイプにするなど利用実態を見て検討ください。	来年度以降、分科会を設置し、現在のサービスレベルを基本としつつ、交通事業者と連携しながら運行内容の見直しを行ってまいります。車両のダウンサイジングにつきましても今後の参考とさせていただきます。
21	4	今後、高齢になり免許返納する時の事を思うと病院へのバス、スーパーへのバスなど必ず必要になります。富田林病院、PL病院の送迎バスがバス代を払って利用できるように早急におねがいします。通院にタクシー利用はたいへんです。	限られた財源の中で、今ある輸送資源を上手に組み合わせながら、地域の実態に合った移動サービスを検討することは重要であると認識しております。各輸送資源の役割を踏まえつつ、連携して本地域にあった地域公共交通のあり方を検討してまいります。
22		80才を迎えて、そろそろ免許返納しなければと思っていますが、その後の状況がまったくめどが立ちそうにない。タクシー割引など支援制度がはっきりとなくて不安ばかりしています。早急に検討して欲しいです。	地域の方々安全、安心、快適に移動できる環境の整備は重要であると認識しております。ご意見につきましては、今後の参考とさせていただきます。
23		私の住んでいる地区はバスが通っていません。病院のバスもレインボーバスも。免許返納したいのははやまやまだが、車なしでは生きていけません。せめて朝晩2回ずつでもバスがあればと思います。もしくはタクシー券を発行してくれればと思います。	地域の方々安全、安心、快適に移動できる環境の整備は重要であると認識しております。今後、現在のサービスレベルを基本とし、特に、移動が困難となっている方々の不便の実態把握につとめ、地域の方にとって利用しやすい公共交通を提供できるよう、引き続き検討してまいります。
24		年を重ねると自転車にも乗れなくなり、レインボーバスのお世話になるようになりました。寿町から金剛地域に行くのはバスを利用しないと電車だと河内長野まわりになり大変！！レインボーバスがもっと小回りして動いてもらえたら助かります。富田林病院行きも復活して下さい。	富田林市レインボーバスは、富田林市が市内の主な公共施設を巡回するコミュニティバスとして富田林駅前～金剛連絡所前間を運行しており、市民の日常生活における移動手段を確保・提供しております。一方で、路線バスとの輻輳や巡回できていない地域の存在、乗務員不足によるサービス維持の難化など、レインボーバスの運行には課題がある状況です。レインボーバスの今後のあり方については、富田林市交通会議で議論しておりますので、今回の貴重なご意見につきましては、当該会議へ情報提供いたします。
25		私は現在、電動自転車や自動車や自動車を利用し日常生活を送っています。免許返納の時期を考える年齢です(70才以上2人世帯)交通手段は日常生活を送る上でとても重要です。近所の高齢者はタクシーや遠くに住んでいる子どもさんに休日に買い物や用事で連れていってもらっています。マイクロバスが近所まで来てくれると本当に助かると外出し、楽しみがもてる生活が一生できる様に運転手を養成しバスの数を増やしてほしい。又、免許返納者にはタクシー割引券を毎年ほしい。すると、医療費や介護保険料がおさえられると思います。	地域の方々安全、安心、快適に移動できる環境の整備は重要であると認識しております。今後、現在のサービスレベルを基本とし、利用実態やニーズを踏まえサービス改善をしつつ、地域の方にとって利用しやすい公共交通を提供できるよう、引き続き検討してまいります。

回答番号	枝番号	意見	事務局の考え
26		富田林企業団地の北側に住居があります。82才です。買物、病院通いは必須です。車を返納すれば足がたよりですが近くにバス停もありません。不安です。高齢者は増えます。ささやかな年金生活が出来ます様、少しずつでも住みよい富田林に努力お願い致します。	将来の地域公共交通のあり方について、利用者が利用しやすいサービス内容への改善が必要と認識しております。一方で、人口減少に伴う利用者数の低迷、乗務員不足など、公共交通を取り巻く問題により、限られた財源の中で現状のサービスを維持することが課題であります。今後、現在のサービスレベルを基本とし、利用実態やニーズを踏まえサービス改善をしつつ、地域の方にとって利用しやすい公共交通を提供できるよう、引き続き検討してまいります。
27		今のところ自分で運転できるので暮らしてはいますが、免許返上した後の生活が大変不安です。特に病院に行くこと、公共施設に行くこと等が。又、現在のバス料金が高いです。河南町のように(カナちゃんバス)100円ワンコインバス等あればうれしいです。	免許返納後に安心して生活できるように、既存の地域公共交通については、利用者が利用しやすいサービス内容への改善が必要と認識しております。今後、現在のサービスレベルを基本とし、利用実態やニーズを踏まえサービス改善をしつつ、地域の方にとって利用しやすい公共交通を提供できるよう、引き続き検討してまいります。
28		金剛バス廃業以前に戻すことが必要です。(例えば)①レインボーバスの運賃・便数・運行コースを運賃は100円、便数は10便、コースはけあばるへも行く。などです。また、②乗り継ぎの不便さをなくす。最終便の確保など、様々な割引や利用チケットなど、生活しやすくする手だてをとる。予算は黒字だから心配ない。	人口減少に伴う利用者数の低迷、乗務員不足など、公共交通を取り巻く問題により、限られた財源の中で現状のサービスを維持することが課題であります。ご意見につきましては、今後の参考とさせていただきます。
29	1	交通の確保は生活の上でかかせません。利用状況のアンケートもされてますが、いままでより便数が減ったりしたら、時間的に合わなくて違う手段で出ていくことになり利用数はへるでしょう。別井という富田林のはしっこですが、金剛バスを利用して幼少のころから買い物、通学、通勤、通院、娯楽など生活にはかかせないものでした。金剛バスが廃止と聞いた時には目の前が真っ暗になりました。各市町村の努力で便数こそ減ったものの、ゼロにはならなくてほっとしています。難しいとはおもいますが路線や便数を増やしたり、バス停の椅子、屋根の設置などよろしくお願いします。とにかく、最低限でも現状維持をお願いします。交通の確保は市町村の存続にもかかわる重要なことです。	人口減少に伴う利用者数の低迷、乗務員不足など、公共交通を取り巻く問題により、限られた財源の中で現状のサービスを維持することが課題であります。バス待ち環境の整備は、利用者が快適にバスを利用するために重要な対策だと認識しております。P.56事業5の取組内容2の通り、上屋やベンチ等の設置のほか、情報提供も含め、引き続き検討してまいります。
29	2	元々の交通不便地域への対策もよろしくをお願いします。交通のことは住んでいる地域でも違うし、同じ地域でもそれぞれの自宅から考えてどうか、また家族構成、年齢などでも一人ひとり違います。誰もが住みやすい富田林市になるようよろしくをお願いします。	地域の方々及安全、安心、快適に移動できる環境の整備は重要であると認識しております。今後、現在のサービスレベルを基本とし、利用実態やニーズを踏まえサービス改善をしつつ、地域の方にとって利用しやすい公共交通を提供できるよう、引き続き検討してまいります。
29	3	自動運転の車が走るそうですが、山中田の歩道もない狭いところを走って安全面は大丈夫なんでしょうか。府が計画していますが、市としても責任をもって対処してください。	自動運転バスの実証実験の実施主体は大阪府であります。本協議会といたしましても、地域住民の安全を第一とした取り組みとなるよう大阪府と連携してまいります。
30		タクシー割引券の導入希望。	地域の方々及安全、安心、快適に移動できる環境の整備は重要であると認識しております。今後、現在のサービスレベルを基本とし、特に、移動が困難となっている方々の不便の実態把握につとめ、地域の方にとって利用しやすい公共交通を提供できるよう、引き続き検討してまいります。
31		現在は車で移動出来ているが、後数年で返納するかも知れず、高齢で外出や病院通いの機会が増すと交通事情が心配である。現在、富田林HPとPLHPの車が住宅地に来ているが、病院通院の為だけでなく電車站まで等にも乗せてほしい。大型バスでなくコンパクトなバスが良い。	限られた財源の中で、今ある輸送資源を上手に組み合わせながら、地域の実態に合った移動サービスを検討することは重要であると認識しております。各輸送資源の役割を踏まえつつ、連携して本地域にあった地域公共交通のあり方を検討してまいります。
32		今は車を乗れるけど、免許返納後が不安です。今後、バス等利用する時は補助を実施してほしい。	地域の方々及安全、安心、快適に移動できる環境の整備は重要であると認識しております。今後、現在のサービスレベルを基本とし、特に、移動が困難となっている方々の不便の実態把握につとめ、地域の方にとって利用しやすい公共交通を提供できるよう、引き続き検討してまいります。
33		自動運転のバスはまだ不安です。いなかですので何かあっても困ると思います。私自身、もうすぐ運転免許を返納する時がきます。その時、どこへも行けない状況がくるかと思うと不安です。いなかに住んでいても、今までの友人に会えるよう計画を考えて下さい。	本地域の地域公共交通については、利用者が利用しやすいサービス内容への改善が必要と認識しております。一方で、人口減少に伴う利用者数の低迷、乗務員不足など、公共交通を取り巻く問題により、限られた財源の中で現状のサービスを維持していけるかが課題であります。今後、現在のサービスレベルを基本とし、利用実態やニーズを踏まえサービス改善をしつつ、地域の方にとって利用しやすい公共交通を提供できるよう、引き続き検討してまいります。
34	1	①バス路線の安定した維持には国や府からの補助は不可欠です。国に対しては補助金制度の拡充、府に対しては補助金制度創設を要望して下さい。	① 今後も厳しい財政状況が続くことが予測される中、補助金の活用は、公共交通の維持に重要であると認識しております。ご意見につきましては、今後の財源確保に向けて参考とさせていただきます。
34	2	②高齢者や免許返納者へのお出かけ支援のため、バスやタクシーなどの乗車料金の割引制度を創設して下さい。	② 地域の方々及安全、安心、快適に移動できる環境の整備は重要であると認識しております。今後、現在のサービスレベルを基本とし、特に、移動が困難となっている方々の不便の実態把握につとめ、地域の方にとって利用しやすい公共交通を提供できるよう、引き続き検討してまいります。
34	3	③曜日や時間帯別の利用実態調査結果に基づき、小型バスやワゴン型車両の導入を検討して下さい。	③ 来年度以降、分科会を設置し、現在のサービスレベルを基本としつつ、交通事業者と連携しながら運行内容の見直しを行ってまいります。車両のダウンサイジングにつきましても今後の参考とさせていただきます。
34	4	④レインボーバスの運行にオンデマンドシステムの利点を取り入れ、増便とともに、公的施設や大型商業施設などを巡回する交通システムの充実を進めて下さい。	④ 富田林市レインボーバスは、富田林市が市内の主な公共施設を巡回するコミュニティバスとして富田林駅前～金剛連絡所前間を運行しており、市民の日常生活における移動手段を確保しております。今後の市内のコミュニティ交通のあり方については、富田林市交通会議が主となり検討を行い、本協議会も連携してまいります。
34	5	⑤交通不便地近くで買物カートを引きながら自宅に向かう高齢の方をよく見かけます。町会や自治会の方などと協議し、オンデマンド交通の導入を検討して下さい。	⑤ 地域の方々及安全、安心、快適に移動できる環境の整備は重要であると認識しております。今後、現在のサービスレベルを基本とし、特に、移動が困難となっている方々の不便の実態把握につとめ、地域の方にとって利用しやすい公共交通を提供できるよう、引き続き検討してまいります。

回答番号	枝番号	意見	事務局の考え
34	6	⑥自動運転バスの実証実験が計画されていますが、道路の幅が広く、直線の多い環境を活かし、富田林駅と金剛駅を乗り換えなしで運行する実証実験を計画して下さい。	⑥自動運転バスの実証実験の実施主体は、大阪府であります。今回の貴重なご意見は、大阪府に情報提供いたします。
34	7	⑦バス乗務員不足は地方だけでなく大都市でも深刻化しています。4市町協議会の取り組みとして、大型2種免許取得への補助制度や雇用と待遇改善制度を創設し、乗務員を安定して確保できるようにして下さい。	⑦全国的に乗務員不足は深刻化しており、確保に向けた取り組みは急務であると認識しております。P.53事業3の取組内容2の通り、運転体験や職業セミナー・PR実施、第二種運転免許の取得促進など、引き続き交通事業者や関係者と連携しつつ、対策の検討及び実施に向けて取り組んでまいります。
35	1	金剛バスの廃止から時間・予算ともあまり余裕が無い中で現状の利便性を維持して下さっている自治体・事業者などの関係者の方々には感謝がありません。 いつも本当にありがとうございます。 私もなるべくバスを利用して行きますので、これから多くの人々がこの地域で暮らしていけるようどうぞよろしく願い致します。 以下3点、意見としてお送りしますのでご検討いただけましたら幸いです。 (p.55)事業4 支線交通の運行内容の見直し 取組内容1:コミュニティ交通の利用実態に応じた運行内容の見直しについて (02 地域の概況・地域公共交通の現状 p.20)でも利用の少ない路線の例として挙げられている北大伴線は、石川線の川向～北大伴南口のルートを変更し統合してしまうのも一つではないかと思う。 石川線は10分程度所要時間が伸びるが、日中の北大伴線と交互で2時間おきに運行している時間帯の増発が可能になり、利便性としては向上するのではないか。	(p.55)事業4 支線交通の運行内容の見直し 金剛ふるさとバスにつきましては、本地域を跨ぐ移動需要を支える交通モードとして重要な位置づけであります。一方で、路線ごとに利用状況のばらつきがあることが課題として挙げられております。来年度以降、分科会を設置し、現在のサービスレベルを基本としつつ、交通事業者と連携しながら利便性の向上に向けた運行内容の見直しを検討してまいります。
35	2	(p.56)事業5 公共交通の利用環境改善と強化について (02 地域の概況・地域公共交通の現状 p.20)でも触れられているように、利用を遠ざけている原因として自治体運行路線・運行便の運賃支払いに現金しか利用できない点が挙げられる。 ICOCAなどの交通系ICはコストが非常に高くすぐに導入するのは難しいと思うが、PayPayやカナちゃんコインなどのQRコード決済と整理券を組み合わせる方式なら導入コストが非常に低く、全国で導入事例もあり実現可能ではないか。	(p.56)事業5 公共交通の利用環境改善と強化について ご意見の通り、支払方法については、路線によっては現金のみの利用となっております。一部路線において交通系ICカードが導入されていない路線が存在し、さらには、停留所によってはICカード対応の便と非対応の便が混在していることで、利用者にはご不便をおかけしていることかと思えます。導入費用や維持管理費用を考慮しつつ、利用者の利便性の向上に向けて、検討してまいります。
35	3	(p.58)事業7 多様な関係者と連携した利用促進策の展開 取組内容2 公共交通利用への転換を図る継続的な周知・意識醸成について 昨年折角決定した愛称『金剛ふるさとバス』があまり活用されていないのが勿体なく感じる。 先日の協議会でバス停にロゴマークを掲載することのお話があったが、他にもバスの車体や行先表示、いずれは車内放送など活用できる場所は色々あるように思う。 地域住民に少しでも愛着を持ってもらい、自分達も参加して作り上げたと感じてもらうことがマイバス意識の醸成、利用の促進に繋がるのではないか。	(p.58)事業7 多様な関係者と連携した利用促進策の展開 金剛ふるさとバスを将来に向けて維持するためには、地域に根付いたサービスであることが重要と認識しております。 ”金剛ふるさとバス”の名称が定着し、地域の公共交通として地域住民から愛着がもたれるように、引き続き情報案内や利用促進策を検討してまいります。
36	1	P42 基本方針についての意見です。 「金剛ふるさとバスの運行を継続する。」ための意見を記載させていただきます。 p45にありますように「地域全体で公共交通を守り支えていく」ことが重要です。その方策としての意見を述べます。住民とともに利用者を増やし、収支率を上げるためには、利便性を高めるためのことが重要です。終バスの時間を22時台まで遅くし、国や府の補助金で運賃をおさえ、電車との接続が便利にダイヤにすることが基本だと思います。さくら坂地区では自治会の協力で交通に関するアンケートに取り組んでいます。住民のニーズに合った運行ができることと利用者が増え継続できるからです。利用者の声を今後とも反映できるように愛知海や住民団体と連携し利便性の向上をお願いします。 ① 終バス延長について さくら坂路線は、富田林駅発の終バスが20時50分です。「帰りがないので車を駅周辺の駐車場に置いた方が安くて便利」との声があります。車から公共交通への転換のために「22時台までの終バスがあればうれしい」との声が上がっています。新たな財政負担をせずに実現するには、17時台2本を見直し、22時台に回してみたいかかと思えます。ダイヤ改正に当たっては、HPやQRコードで意見要望を聞けるようにしてほしいです。	① 終バス延長について 地域の方にとって利用しやすい公共交通を提供できるよう、検討していく必要があると認識しております。一方で、人口減少に伴う利用者数の低迷や乗務員不足など、公共交通を取り巻く問題により、限られた財源の中で現状のサービスを維持することが課題となっております。来年度以降、分科会を設置し、現在のサービスレベルを基本としつつ、交通事業者と連携しながら運行内容の見直しを検討してまいります。
36	2	② 補助金獲得について 利用者が減ると運賃をあげ、採算をとろうとしますが、利便性の向上と大幅な割引制度で利用者を増やし採算も改善している自治体に学び施策を進めていってほしいです。(埼玉県 小山市) 奈良県や和歌山県では、路線バス運行業者に住民に必要な公共交通として赤字路線の半額を補助する国交省の制度を利用すると共に県独自に補助金を出しています。大阪府への補助金を何としても要望してください。ふるさとバスを運行する自治体の負担軽減で住民サービスの水準を落とさないように要望します。ふるさとバスの収益率が今年度は48%です。赤字路線への国の補助金をぜひ申請し、予算化できるように要望します。	② 補助金獲得について 今後も厳しい財政状況が続くことが予測される中、補助金の活用は、公共交通の維持に重要であると認識しております。 ご意見につきましては、今後の財源確保に向けて参考とさせていただきます。
36	3	③ p61の計画推体制について 素案ありがとうございます。利用者は事故や遅延の情報が入りにくい現状です。ふるさとバスや、各市町村のHP・LIN・防災無線の利用等で速やかな情報が共有できる体制をお願いします。また、バス停に連絡先を大きく書いてください。特に、お客様相談窓口を作り要望や意見が届く窓口を一本化してほしいです。また、車内や、バス停にQRコードを掲示し、利用者の要望を聞ける体制をお願いします。ロケーションシステムができていりるような手段が必要だと感じています。検討ください。市町村をまたがってのコミバスとしての運行には多大な努力と連絡調整が必要です。委託先も南海・近鉄をはじめ多数の会社が関わっています。連絡調整を図るためにも4市町村の協議会の役割が重要です。スムーズに行くために協議会ではなく3セクなどの会社組織としての運行主体をどうするか検討が必要に思います。そうしてこそ、「使い勝手の良い公共交通の形を考え、身近なものに」できるようになると思います。	③ p61の計画推体制について 地域にあったサービス内容への見直しには、公共交通を実際に利用される地域住民の方からのご意見が必要不可欠と認識しております。 情報発信や利用者ニーズを把握する窓口体制の構築など、今後の参考とさせていただきます。

回答番号	枝番号	意見	事務局の考え
36	4	④ p43 輸送資源の総動員による相互の連携強化について さくら坂から河南中学校へ通学利用する中学生の要望です。金剛バスが廃止されるまでは、通学にかなちゃんバスを利用してきていました。朝と夕の補充運行のため通学時間帯に片道100円で利用できていましたが、ふるさとバスになってから片道240円かかるようになり負担が大きくなりました。雨や体調不良、家庭の都合で利用せざるを得ない家庭の負担が大きくなりました。河南町の2校の小学校の通学バスへの混乗と回送便を中学校への通学バスとしてや一客の混乗として1便運行できないか検討ください。あるいは、ふるさとバスの運賃を通学利用者の負担軽減のため生徒手帳を見れば半額になる制度の検討を願います。	④ p43 輸送資源の総動員による相互の連携強化について 地域の方にとって利用しやすい公共交通を提供できるよう、検討していく必要があると認識しております。来年度以降、分科会を設置し、現在のサービスレベルを基本としつつ、交通事業者と連携しながら運行内容の見直しを検討してまいります。
36	5	⑤ p54 新モビリティ導入について 自動運転のルートについての要望です。南部ルートにさくら坂を経由するルートを検討ください。北部ルートに喜志駅経由を加えてください。利用が増えると思います。道路の整備等必要ですので安全のためレベル4をめざし当面レベル2での運行で安全確保を図ってください。また、運行主体は、大阪府としてください。これ以上の自治体負担が増えない手立てをお願いします。ふるさとバスやコミバスとの連携を要望します。	⑤ p54 新モビリティ導入について 自動運転バスの実証実験の実施主体は大阪府であります。本協議会といたしましても、地域住民の安全を第一とした取り組みとなるよう大阪府と連携してまいります。
36	6	⑥ p50福祉・観光関係者と連携について 富田林駅に様々なバスが集まっています。バスマニアには魅力的です。金剛バス最後の週には多くのマニアが写真を撮っていました。一日フリー券は賛成です。値段の設定が肝要です。観光モデルと道の駅割引、入館料割引などの特典を付け呼び込みをお願いします。廃車する金剛バスの部品のオークションなどの企画もいかがでしょうか。ふるさと納税に活用してみてもいかがでしょうか。	⑥ p50福祉・観光関係者と連携について P.59事業8の取組内容1の通り、観光関係者や関連施設と連携して、公共交通を使って地域内の観光ができるおすすりモデルコースの作成や特典付きの散策パックなど、公共交通の維持に向けた利用促進策を検討します。
37		年金者組合富田林支部として、2018年末から2019年2月にかけて組合員を対象に180人余りに「公共交通レインボーバス」についてのアンケートを実施した。 一方、市も2020年1月に「公共交通に関する」アンケートを実施しています。これら2つのアンケートの集約結果を元に共通する項目(要望)について意見を述べます。いずれも回答者の大半が60才以上で、しかも半数以上が単身もしくは夫婦のみの家族構成となっています。外出等の移動手段としては自動車、徒歩、バスと続き、目的は買い物、社交(趣味)、娯楽、通院と続く。 また、「レインボーバス」については約9割以上の人がその存在を知ってはいるものの6割強の人が多くて月1回程度や1度も利用していない。その理由として今の所、車やバイク(自転車)等を利用していたり、近くにバス停がなく、運行便数も少なく不便という声が目立つに多かった。 今後、高齢者の運転免許証の返納が推奨される中では、より多くの高齢者が安心して地域で生活できる様、あらゆる施策を講じるべきです。 バスやタクシーの運賃補助、オンデマンド方式の普及、他市との相互乗り入れ、移動スーパー、食料品等生活必需品の宅配サービス等々、住民(市民)の声をよく聞いて実施して下さい。	地域の方々安全、安心、快適に移動できる環境の整備は重要であると認識しております。今後、現在のサービスレベルを基本とし、特に、移動が困難となっている方々の不便の実態把握につとめ、地域の方にとって利用しやすい公共交通を提供できるよう、引き続き検討してまいります。
38		西板持に住んでいますので、東條線のバスを利用しています。本数が減り残念です。できれば、どの時間帯も最低1本を確保して下さい。又、どのバス停にも屋根つきのベンチを設置してほしいです。 とくに、金剛大橋たもとのサンブラザ前のバス停(堺筋)は甘南備方面の方々サンブラザで買い物をなさった方が(高齢の方が多いため)雨の日など大変な思いをなさっているのでは?と思います。 せめてこの地点だけでも屋根をつけてほしいです。	バス待ち環境の整備は、利用者が快適にバスを利用するために重要な対策だと認識しております。P.56事業5の取組内容2の通り、上屋やベンチ等の設置のほか、情報提供も含め、引き続き検討してまいります。
39	1	【ページ】P30 【項目】公共交通を知ってもらうきっかけづくりの促進 公共交通に不便を感じる理由は、家族構成、住居の立地などにより違うと思うが、「運行本数が少ない」のはやむをえないが、改善できるものはある。乗り継ぎの時間、乗り場近くに駐車場や駐輪場がない、路線・時刻等が分かりにくい、待合環境の問題など。運賃が高いのは以前からよく言われている事で、子どもの数が多い家庭は多額になり、車で送ることになっている。兄弟割引や何かお得感がなければ乗れない。駅まで送迎するのは忙しい時間帯であるので好んで行っているわけではないと思う。 公共交通を利用してもらうきっかけづくりは具体的なあるのでしょうか。←どこかに書かれていますか?ページ数が多すぎて分かりません。	【ページ】P30 【項目】公共交通を知ってもらうきっかけづくりの促進 地域の方にとって利用しやすい公共交通を提供できるよう、検討していく必要があると認識しております。公共交通を利用してもらうきっかけづくりとしては、P.58 事業7の取組内容1の通り、公共交通を利用した買い物などのお出かけ企画や利用特典の付与、通院やリハビリ等と公共交通の利用を連携した取組など検討してまいります。
39	2	【ページ】P52 【項目】広域連携による幹線交通の維持 ふるさとバス1日フリー乗車券を考えておられるようだが、途中下車もでき、再乗車も可能、他の路線へも利用できるとなれば便利かと思われれます。安価で考えていただきたいです。 地域住民以外の人達にも各市町村での観光地、季節に合わせた見どころ、イベント開催地などを知らせ、住民以外の人たちにも利用してもらおう工夫をお願いしたいです。 まずは住民のためは分かりませんが、今後人口が減り、ますます利用者が減り、税金でまかなう費用が増える一方です。 (公共交通はなくてはならないことであるが、難しい問題が山積みですね。大変ですがよろしく願います)←感想です。	【ページ】P52 【項目】広域連携による幹線交通の維持 1日フリー乗車券については、地域住民だけでなく観光来訪者の利用も想定しておりますので、P52事業2の取組内容2のとおり4市町村が主体となり、利用しやすいの創出をめざし金剛ふるさとバスの利用促進を図ってまいります。